

高知県健康経営事例紹介
高知家 健康経営アワード2018受賞

荒川電工(株)



社員が健康意識に目覚める
多彩な取り組みを考案&実行



代表取締役社長 荒川 浩一氏

幅広い仕事に携わるには
社員の健康から

弊社は2022年、創立60周年を迎えました。屋内外、公共工事から一般住宅設備まで、様々な電気設備の施工から、近年では太陽光パネルなどの環境エネルギーソリューション、ハウジング&リノベーションも取り扱っています。これからもベテランから新卒まで幅広い層の社員が健康で働きやすく、活躍できる企業を目指していきたいと思っています。



取り組みの
きっかけ

健康経営は企業とそこで働く社員
両方にメリットがあると信じて開始

弊社は100年継続できる企業を目指して活動しています。業務には専門的な知識や資格、そして経験が必要なものが多くあり、今それを担っている社員の健康を大切にすることは当然の方針です。また新卒社員たちが元気かつ働きがいを感じながら活動できるためにも健康経営への取り組みは必須だと考え、長期的な展開も含め活動を始めました。

取り組みの
内容

スマートリストバンドの配布や
仮眠の推奨など、独自の取り組みを

定期健康診断受診の他、インフルエンザ予防接種の全額負担や特定健診受診者への補助を行いました。また歩数や距離、睡眠などの測定ができるスマートリストバンドを希望者に無償配布しました。質の悪い睡眠は生活習慣病の罹患リスクを高める一因です。そこで1時間の昼休み休憩のうち、20分間のリフレッシュ仮眠の推奨もしました。

取り組みの
成果

健康に対して自発的に動く社員が
増えてきているのを実感

健康や体調はデリケートな問題でもあることから、会社から社員に深く強くは言えませんが、健康診断後の保健師さんからの指導や助言を聞いて実行、社内設置の血圧計や体重計を利用するなど自主的にアクションを起こす社員が多く、健康意識の高まりを伺えました。またスマートリストバンドはほぼ全員が利用し、それを活用した歩数イベントも盛り上がっています。リフレッシュ仮眠も頭がスッキリするなどの声が聞こえています。



【会社データ】

- 業務内容:電気・プラント等公共工事、再エネ全般他
- 創業:1962(昭和37)年7月
- 社員数:77人
- TEL.088-885-1185
- FAX.088-885-1181
- E-mail:home@araden-21.co.jp



公式WEBサイト

今後の目標

SDGsと関連させた健康経営活動を
外部に伝えていきたい

2019年からSDGsにも取り組んでおり、健康経営ともリンクするSDGsの目標3「あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する」を意識した活動を進めていきたいです。また献血や古着を送ることで開発途上国にポリオワクチン寄贈や雇用を創出する「古着deワクチン」など、外部へのアピールもしていきたいです。